



オンラインスクールを作ろう!

オンライン講座の作り方

ドメイン&インストール





独自ドメインについて







独自ドメインについて



ドメインの種類について

主に4つの種類があります。

- 誰でも使える一般的なドメイン .com .net .info など
- 国ごとに割り振られているドメイン 日本の.jp 米国.us など
- **日本語ドメイン** 日本語.com など ドメイン部分が日本語
- 何百と登場した新しいドメイン .shop .red .dog など
- 取得するには条件が決まっているJP等ドメイン 法人の.co.jp 学校法人の.ac.jpなど



ドメイン取得更新時の注意点



更新し忘れに注意

ドメインの更新は1年後にやってきます。

更新切れのドメインを取得する業者もいて買い戻す場

合は数十万必要な場合があります。

ドメイン取得時の登録アドレスは更新の案内が届く、

変更が無いアドレスにしましょう。



便利ツール紹介



Namechk

ドメイン取得の参考サイトとして、ドメインの空きを 調べるだけなく、FacebookやTwitter、You Tube、 Instagram等のソーシャルメディアやウェブサービス のアカウントの空きを一括検索できるサービスです。

Namech_k

https://namechk.com/



確認しておきましょう



ドメインの商標等

ドメインを取得する前に

- 商標登録の確認(ウェブサイトで確認)
- 過去のドメインを見にいき変なサイトが運営されていなかったか確認します。

特許情報プラットフォーム | J-PlatPat https://www.j-platpat.inpit.go.jp/



過去サイトを見られる Wayback Machine http://web.archive.org/





ドメイン・サブドメイン・ディレクトリ



サイトを作る3つの場所

【独自ドメインについて】

Thttp://oo.comJ Thttp://www.oo.comJ

Thttp://oo.jp_ Thttp://www.oo.jp_

wwwあり、wwwなし、どちらでサイトを運営するか ご自身で決めます(好みです。どちらでもOK)



ドメイン・サブドメイン・ディレクトリ



サブドメイン

「http://○○.example.com」・「http:// △△△.example.com」の「○○」「△△△」 にあたる部分です。

例) Yahoo!Japanの独自ドメインは、http://www.yahoo.co.jp/です。 Yahooは、各サービスをサブドメインで展開しています。

- ショップサイト・http://shopping.yahoo.co.jp/
- 旅行·http://travel.yahoo.co.jp/
- スポーツ・http://sports.yahoo.co.jp/

ドメイン・サブドメイン・ディレクトリ



ディレクトリ (フォルダ) について

「http://example.com/blog」(ディレクトリは、 ドメインの下のフォルダ階層のことです)

Γhttp://○○.jp/●●●J

Thttp://www.○○o.jp/●●J

「●●●」の部分がディレクトリにあたります。





独自ドメインについて

検索エンジンは独自ドメインのサイトを別サイトとして 判断しますので、例えばあるキーワードで検索した時に 1ページ目に表示される10件すべてを自分のサイトに することも可能です。

会社サイト、サービスサイト等のメインのサイトは 一般的にこちらの独自ドメインでサイトを構築します。

※ 通常はGoogleやYahoo!の検索結果の1ページに同じサイトは、 2 サイトまでしか表示されません。





サブドメインについて

サブドメインも別ドメイン扱いです。 運営者が同じなため上記のようなことはできませんが サブドメインをたくさん作成してもドメイン代は1つで 済みます。

Yahoo!はドメイン代節約目的ではなく、「Yahoo!」というブランドとして複数サイトを運営するためにあえて、ブランディングのためにサブドメインで運営されています。





ディレクトリについて1

この階層にすると、サイトの1カテゴリー扱いになります。 そのためドメインの下にあるフォルダに WordPressでサイトを作りコンテンツを強化することで、そ のドメイン自体の評価が上がります。

ドメイン自体のSEOも上がるため、被リンクが獲得しにくいサービスやサイトはディレクトリに有益な情報を掲載することでSNSのシェアや被リンクを自然に獲得できるように見せるためにSEO的に人気の手法です。 ※SEO講座で詳しく紹介します。





ディレクトリについて2

会社のホームページがHTMLで作られている場合に、 ドメインの直下のディレクトリ(フォルダ)にWordPressで ブログを構築し元のドメインのSEOをサポートする意味合い もあります。

http://example.com/blog この場合は「blog」のフォルダにWordPressがインストールされているイメージです。

SEO的を目的として、オウンドメディアなどは ディレクトリで構築することが多いです。



ドメインを取得し サーバーへ設定します









ドメインを取得する

ドメインはどの会社で取得されても問題ないです。 キャンペーン等で初年度のみ安くしている場合もあります ので、必ず翌年以降の正規料金を確認しておきましょう。 同じドメイン会社で統一しておくとドメイン更新忘れを防 げます。

※サーバー会社によっては、ドメインプレゼントキャンペーンを 実施しているところもあります。(ロリポップやXサーバー等)





レンタルサーバーを契約する

レンタルサーバーを契約する際にチェックしたい項目は

◆ 選ぶポイント

- データベース (MySQL) の数=サイトの数
- バックアップ機能の有無(有料でもある方がいい)
- 料金(年払い等で割引あるところが多い)
- プラン変更が簡単
- 使いやすさ・サポート体制







ドメインを取得したら

ドメインの管理画面から「ネームサーバー」を設定します。 ネームサーバーはレンタルサーバー毎に決められています

THE TOPPOND TO THE CONTRACTORS

ので、契約時のメールに記載されたものをコピペします。

【ロリポップ例】 【エックスサーバー例】ns1.xserver.jp

uns01.lolipop.jp ns2.xserver.jp ns3.xserver.jp

uns02.lolipop.jp ns4.xserver.jp ns5.xserver.jp











WordPressの自動インストール



サーバー会社の自動インストール機能

各レンタルサーバー毎に操作は異なりますが、各社マニュアルも用 意されています。

とても簡単にインストールは完了します。

※元々WordPressは手動でしてもインストールが簡単なCMSです。

手動でのインストール 方法もありますが、 今の代表的なレンタル サーバーでは、自動イ ンストールが付いてい るため手動でのインス トールはしません。



SSLについて



サイトのSSL化対応について

「https」の「s」が付いたアドレスがSSL化している サイトで、鍵マークになっています。

① 保護されていない通信

8seminar.com

このサイトへの接続は保護されていません

このサイトでは機密情報(パスワード、クレジット カードなど)を入力しないでください。悪意のあるユーザーに情報が盗まれる恐れがあります。 詳細







「https」がSSL化されています





サイトのSSL化対応 メリット

- 暗号化になりサイトのセキュリティのため
- 信頼が上がるため
- ブラウザのGoogle Chromeが非httpsサイトに警告表示 が出ない
- SSL化された「https」のサイトの方が検索エンジンの 順位で優遇されるため











WordPressのログイン画面



ログイン画面は共通URL

サイトのURL/wp-admin もしくは、サイトのURL/wp-login.php

ユーザー名またはメールアドレス パスワード □ ログイン状態を保存する □ ログイン
プログイン状態を保存する ログイン パスワードをお忘れですか?

ユーザー名(またはメールアドレス) とパスワードを入力し、 「ログイン」ボタンをクリックして ログインします。



コーザー名・パスワードを忘れた時



再発行をしましょう

ユーザー名またはメールアドレス
パスワード
□ ログイン状態を保存する ログイン
パスワードをお忘れですか?

ユーザー名か登録した時のメール アドレスのどちらかを覚えていれば 再発行が可能です。 インストールした際のメールアドレス 宛にユーザー名も記載された パスワードのリセットURLが送信され ます。パスワードを再設定します。



PC以外からもログイン可能



スマホやタブレット、アプリor からも

WordPressサイトはインターネットが繋がれば、どのパソコンからもログインして更新が可能です。タブレットやスマートフォンからも編集可能です。
(公式のアプリもあります)

Bookmark

WordPressの管理画

面はご自身のパソコ

ンのお気に入りに入

れておきましょう。



セキュリティについて①



WordPressは管理画面がウェブ上にあります

不正アクセスによる改ざん等の心配があるため、

ユーザー名とパスワードは簡単な文字列は使用しないこと。

使用してはいけないユーザー名

「admin」「master」「Administrator」「ドメイン名」

などの想定されるユーザー名は使わないでください。

※ユーザー名・パスワードは同じにしないように。











セキュリティについて①



パスワードを作れない方へ

脆弱なパスワードになってしまう方や複数人の

ユーザー登録でパスワードを作る必要がある場合には

「パスワード生成」で検索するとたくさんの

パスワードを自動で作成してくれるツールがあります。

【ローマ字打ちするのもおすすめ】

(例)「Apple2021」ではなく、「Ringodaisukidayo2021」にする



セキュリティについて②



セキュリティプラグインの使用

たくさんの方で運営する場合にもセキュリティのプラグイン でサイトを守ることもおすすめします。

SiteGuard WP Plugin

- 管理ページへのアクセス制限
- ログインページのURLの変更
- ログイン画面に画像認証が追加

- 一定数ログインを失敗した
- 接続元を一定期間ロックします。
- メールでログイン通知等



セキュリティについて③



バージョンは最新にしておく

脆弱性がある場合もあるため、常にバージョンは

最新にしてきましょう。

3つの管理

- WordPress本体
- プラグイン(使用していないプラグインは削除しておく)
- テーマ (使用テーマと公式のテーマを1つ)





WordPressの階層







【参考】WordPressの階層について



WordPressのURL階層は共通

テーマフォルダ

例:http://www.8seminar.com/wp-content/themes/

プラグインフォルダ

例:http://www.8seminar.com/wp-content/plugins/

画像フォルダ

例:http://www.8seminar.com/wp-content/uploads/



他のサイトのテーマ等を調べられる



WordPressのフォルダ階層が分かれば

他のWordPressサイトの使用しているプラグインや テーマを調べることができます。

生きたお手本

どんなテーマを使っているのか

(無料&有料のテーマではなくオリジナルの場合もある)

どんなプラグインを使って作っているのか



Chrome拡張を入れておきましょう



無料の「Wappalyzer」を入れる

まずは、見ているサイトがWordPressで作られていること が分からないといけないため、「Chrome拡張 Wappalyzer」で検索しインストールしておきます。

※必ずブラウザのChromeで検索してください。

Chrome拡張は他にも色々とあって、とても便利なため

Chromeは必ずインストールしておきましょう。



「Wappalyzer」について



ツールバーに固定しておきましょう

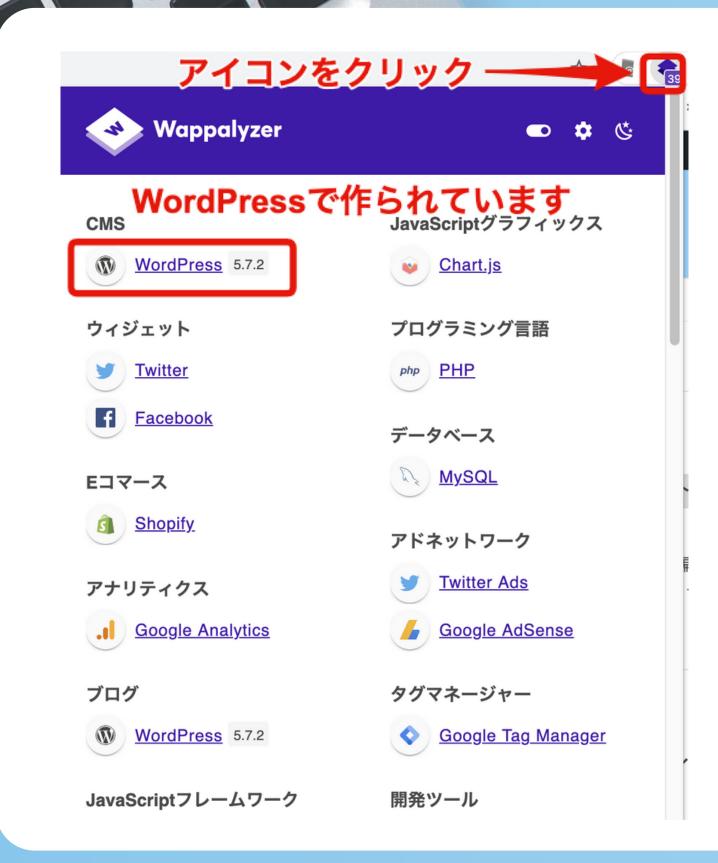


「拡張機能」を クリックして、 ツールバーに固定し ておくと便利です。



「Wappalyzer」の見方





今見ているサイトが何の技術で 作られているか分かります。 WordPress以外のCMSも

分かります。



プサイトのソースを表示します



調べ方

調べたいウェブサイトの画像等何も無いところで 右クリックして、「ページのソースを表示」をクリック (ブラウザによって表示は変わります。)

例:http://www.8seminar.com/wp-content/themes/

例:http://www.8seminar.com/wp-content/plugins/

上記の文字列を探します。ショートカットキーを使うと楽です。

Windowsの方はコントール+F・Macの方はコマンド+F



ラーマ・プラグイン名を検索



プラグイン名とテーマ名をコピーします

テーマフォルダ

例:http://www.8seminar.com/wp-content/themes/〇〇〇

プラグインフォルダ

例:http://www.8seminar.com/wp-content/plugins/〇〇〇

「〇〇〇」がテーマ名もしくは、プラグイン名です。

「〇〇〇 WordPress テーマ」or 英語で「theme」

「○○○ WordPress プラグイン」で検索して探します。



WordPressの設定の確認







WordPressの設定の確認



下記の項目のみで当初はOKです

- 一般設定でサイトのURLが「https」になっているか
- 表示設定で「検索エンジンでの表示」の確認
- ディスカッション設定で、デフォルトの投稿設定
- の3つの項目をオフにする
 - パーマリンク設定の確認



ここから実際にサイト作成を進めましょう



